

続上がった。政府の景気対策による需要期待と米国の量的金融緩和策による資金流入が影響したとみられている。鉄鋼の実需は不安の平均した指数は、9

原料コストアップ 応がでない低価格帯の溶接材料について、別ノーズでの調達も検討を進めている。インド、イン

材原料に関して、ドネシアについても価格優先の顧客が多く、今後の検討課題。顧客要望、材料調達を依頼されるケースも出てきている。本年度のテーマ、

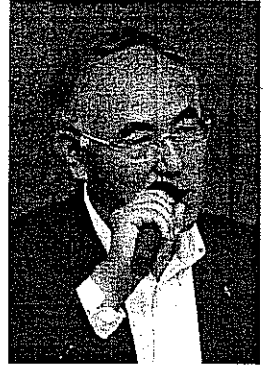
「神鋼、販売会社、代理店との連携を強化し、技術営業を推進すること」で求心力を強めたい。メーカー、流通と合同で溶接テマを行うなど、共同活動に積極的に取り組む、知識とスキルを上げていきたい。傘下の代理店も含め、日本溶接協会(JWES)の資格・認証制度の取得も推奨している。化工機関連などでは、技術的な要求が高い特別管理品という製品があるが、そうした問い合わせに対し、本部でも販売会社でも対応できる態勢を整えている。

中国鋼鉄工業協会(CIISA)によると、国内産鉄石価格(品位62%鉄精鉱)と輸入鉄石着岸価格(62%粉鉱)の平均した指数は、9

落。9月初旬に中国政府が1兆元の景気刺激策を打ち出したこと、市場の買い意欲が高まり、第3週から価格が上向き始めた。粗鋼生産が9月中旬に日当たり186万ト(CIISA推計)と、8月平均に比べ1.6%

中坪修一・大同特別社長 東北大で特別講義

【仙台】日本鉄鋼協会の鉄鋼メーカー経営幹部による大学特別講義として11日、大同特殊鋼の中坪修一特別社長が、東北大学工学部で講義を行った。モノづくりと特殊鋼と題し、大同特殊鋼の取り組みを紹介しながら、日本の産業を支える特殊鋼の製造プロセス、国際競争の中で優位性を持つ特殊鋼技術について、約1時間30分にわたって講演した。特殊鋼メーカーはアナログ的産業とし「地味に見えるが、やっていることは最先端」と持論を



講義を行う中坪副社長

「信頼性の高い製品を供給しなければならぬ」とし、特殊鋼など日本の鉄鋼メーカーはトータルでナンバーワンを走っていると訴えた。知財保護も重要とした上で「特殊鋼はナロクグの産業。古い技術も常に進化している。そうしないと飛躍する製品はできない」と、先端技術を探求していることを説明した。最後に、製造技術、製品開発は「なかなか成功しない。しかし、自分を信じて諦めないこと。東北大の粘り強さは「カイチ」と学生たちを励ました。

減り3カ月連続で減少。鉄石需要は低下している。9月末の主要港の輸入鉄石在庫は9468万トと前月比3

「信頼性の高い製品を供給しなければならぬ」とし、特殊鋼など日本の鉄鋼メーカーはトータルでナンバーワンを走っていると訴えた。知財保護も重要とした上で「特殊鋼はナロクグの産業。古い技術も常に進化している。そうしないと飛躍する製品はできない」と、先端技術を探求していることを説明した。

24%、23%の開きがあるため、CIISAでは下落余地が大きく、変動しながら下方に傾くと予想している。

本社工場跡地 商業施設開業 新報国製鉄

新報国製鉄は12日、本社工場跡地(埼玉県川越市)の再開発用地

再開設計画では、約2万2440平方メートルの土地を商業施設と住宅展示場とし、商業施設とは土地賃貸契約を結んだ。約8085平方メートルを事業用地として本社の営業・研究開発部門に充て、住宅街となつている周辺地域との調和を図る。本社用地

製品の耐摩耗鋼「ハルボックス(HARDOX)」、高張力鋼「ウェルドックス(WELDOX)」の日本における加工工場として、SSAB社が国際的に展開している「ウェアパーツサプライヤー」の認定を受ける。日本では藤井鋼業(兵庫県尼崎市)に次いで2社目。同月7日にホテル日航倉敷で、SSAB社による認定授与式が開かれる。

共和工業所 SSAB社のウェアパーツ サプライヤー 認定取得

【倉敷】鋼材加工販売、産業機械製作の共和工業所(本社岡山県倉敷市、石本隆一社長)は11月、スウェーデンステール社(SSAB社)から同社

9年12月からSSAB社製品の加工販売を開始し、ダンパー荷台の内張部材、重機の外装部分、廃棄物破砕機の刃物部分など産業機械用に需要の開拓を進めた。SSAB社製品の加工販売数量は10年8月期に43トだったのが、11年8月期には88ト、12年8月期には110トにまで拡大させている。同社ではスウェーデン鋼の溶断、曲げ、切削、溶接など多様な加工に対応できるのが特徴。また、全社員を対象にしたSSAB社製品の勉強会を自主的に定期開催している。一連の取り組みが評価され、認定を受けることになった。今後、優先的に鋼材仕入れができるようになることから、スウェーデン鋼の品ぞろえ充実化を図り、販売数量拡大を目指す。